

しちがはま 議会だより

No. 117

平成25年11月1日
宮城県七ヶ浜町議会



ねらいを定め
さあ一消すぞ！

(9月29日代ヶ崎浜地区防災訓練)

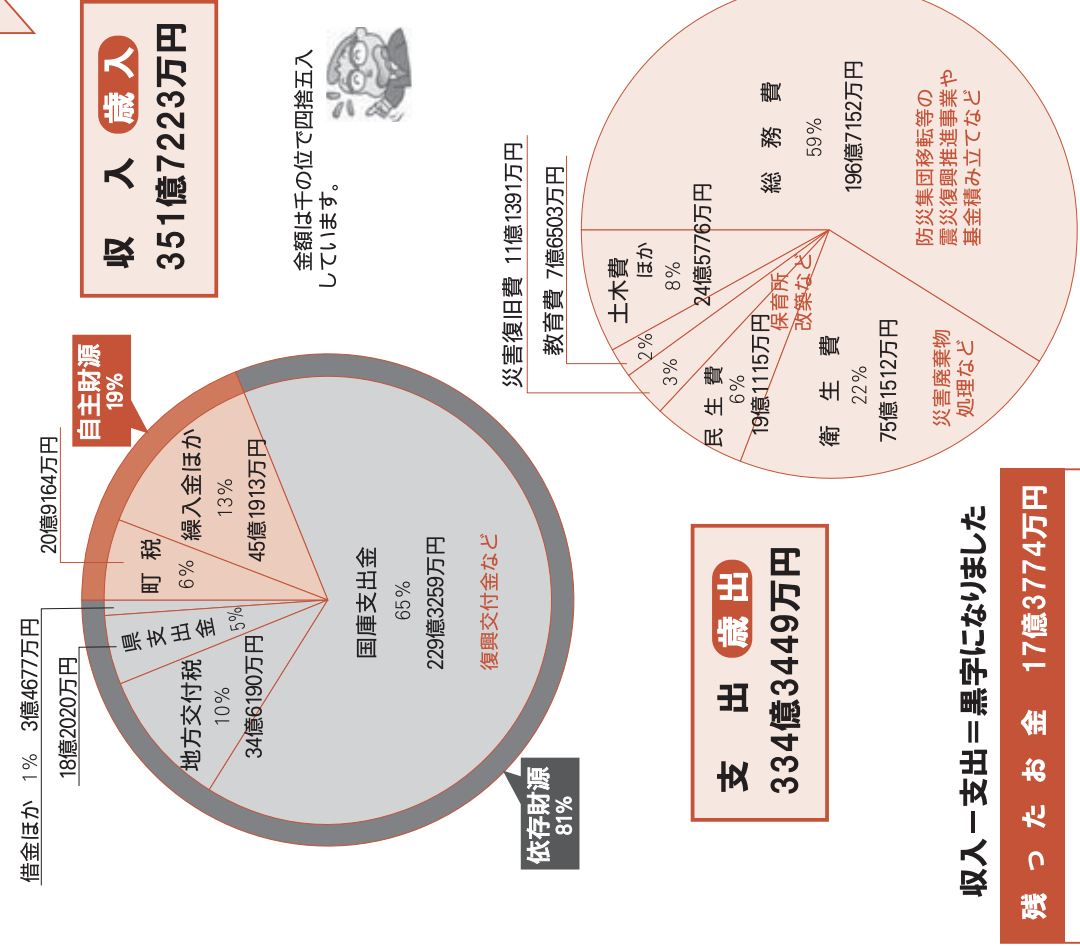
特集	24年度 決算	復旧事業に重点配分	2
		子ども・子育て会議を設置	8
		委員会のメンバーが変わりました	14
		給食の食物アレルギー対応など 5人が質問	16
		おらほの幼稚園紹介シリーズ ー第4回ー	23

一般会計の当初予算額

平成24年度
決算

129億円が復興交付金などで

334億円の大型決算に



復旧事業に重点配分

災害廃棄物処理に

約69億3000万円

遠山保育所改築に

約2億6000万円

復興推進事業に

約18億4000万円

収入ー支出＝黒字になりました

残ったお金 17億3774万円

25年度の特定事業へ 15億 751万円

25年度に繰り越し 2億3023万円

9月定例会を9月4日から13日までの会期で開催しました。土地区画整理の議案に関する条例制定や災害公営住宅整備の契約、25年度補正予算など21件の議案を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。また、一般質問は5人が町の考えをいただきました。平成24年度各種会計の決算審査は、特別委員会を設置して審議しました。(審議内容は4～7ページをご覧ください。)

決算 審査

平成24年度の各種会計決算審査は、特別委員会を設置して9月5日から13日までの日程で行いました。質疑・答復、各課ごとに説明を受けました。その後、各課により慎重に審査し、全会計の決算を認定し、承認の結果、採決の結論、採決の内容を要約してお知らせいたします。



遠藤 久和
委員長

阿部 慶也
副委員長

このことはどうなのかな

町民バスぐるりんこ

問 震災で住宅が半壊以上の世帯に、5000円分の回数券を配付したが利用状況は。
答 政策課長 被災者の生活支援と地域活性化のため、対象の1207世帯に配付した。24年7月1日から25年3月31日までの利用割合は66%であった。
問 ぐるりんこの運行で利用者の要望と、回数券販売の考えは。
答 路線の追加や変更の要望が多い。回数券は11月頃から再販販売を予定。

交通安全対策

問 本町の飲酒運転検査率が県内ワースト1だが対策は。
答 総務課長 交通安全母の会などが飲酒運転根絶の啓発チラシを配布している。



ダメ！飲酒運転は

町民夏まつり

問 9・11万円の事業費の内訳は。
答 生涯学習課長 打上花火代500万円、ステージ代200万円、出演料100万円、リース代100万円などである。
問 出演者の選定と町民の反応は。
答 国際村と連携し民謡や、よさこい・フラダンスなどの内容とした。約7000人の参加があり、アンケート調査も好評であった。



復活した夏まつり

学力向上対策

問 町の予算で各学校に1人の非常勤講師を配置しているが、指導内容とその効果はあったか。
答 教員長 小学校は低学年の少人数学級によるきめ細やかな学習。中学校は教員の学習指導の支援補助により児童・生徒の学習意欲の向上が見られた。今後は学力向上という目標を定めて取り組む。

観光促進

問 被災地見学客の需要は高く、問い合わせも多いとのことだが対応はしたか。
答 産業課長 被災地の案内・説明を職員がボランティアで行うなど対応した。
問 被災体験を風化させないために、語り部などの育成は。
答 今後、検討していきたい。

環境対策

問 こみ収集減量のため、施設を見学するリサイクル探検ツアーの参加者は。
答 環境生活課長 健康づくり推進員だが、他の団体も検討したい。
問 クリーンサポーターで9団体のうち4団体が再開したが他の団体の活動は。
答 25年度は活動を再開している。



議会も環境美化に協力

防災集団移転用地

問 用地はどのように決めたか。
答 震災復興推進課長 復興計画に伴うまちづくり計画で、候補地を特定し地権者と交渉した。
問 地権者との話し合いで、予定通り取得できたか。
答 財政課長 一部と協力をもらえない土地があったが代替用地で対応した。

災害備蓄品

問 大規模災害に備えてアルファ米を購入したが、数量は。
答 総務課長 今回は3250食。
問 備蓄品のうち、賞味期限が切れるアルファ米の処理は。
答 期限切れが近い物は地区の防災訓練の時、有効に活用している。また、業者に引き取ってもらったことを交渉中である。



備蓄されているアルファ米など

トイレ問題

問 青蒲田海水浴場のトイレが被災し撤去した。来町者に不便を掛けているが設置する考えはないか。
答 建設課長 復興計画で設置する予定だが、実現には時間がかかる。



くす玉割りでスタート

友好の町 山形県朝日町

問 締結してから一年になるが交流事業を推進する取り組みは。
答 政策課長 Nana5931のミニコンサート公演や、各種団体の相互交流および特産品販売などを促進したい。

仮設住宅

問 入居者の健康管理はどのように行っているか。
答 地域福祉課長 健康増進課やアクアゆめくらうて、仮設住宅の世帯人と毎月情報交換しながら対応している。

24年度に 寄せられた奇附金

問 ふるさと納税と震災による一般寄付金はどのくらいあったか。
答 財政課長 ふるさと納税は23件で131万円、復興支援の奇附金は74件で1935万円である。町の復興のため一般財源に繰り入れ有効に活用したい。

討論

…なので反対します
…だから賛成します

反対 歌川 渡

- 次の点で反対する。
 - ①一部環境世帯に町独自の支援を行わなかった。
 - ②仮設住宅入居者の生活支援が欠けていた。
 - ③町民の要求、要望にできていない。
 - ④非常勤や臨時職員の賃金引き上げがない。
 - ⑤給食センター設計に食物中毒小児対応がない。

賛成 我妻 寛悦

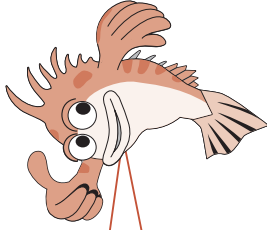
町は申生、再建に向け町民とともに一歩一歩着実に歩み出しており、漣江孝真の執行であったと認められる。被災住民の願いである住宅再建や、安心して住むことできるまちづくりを目標するため、意向調査や説明会、相談会等での意見形成をはかっていること評価する。

一般 会計

議決結果
賛成13
反対2
(歌川渡 鈴木慶彦
賛成多数で可決)

反対：町民の要求、要望に応えていない 賛成：町民とともに着実に歩み出している

まちの財政状況は どうなっているの？



財源構造

区分	平成24年度	平成23年度	説明
財政力指数	0.60	0.62	標準的な運営経費を、自主財源で賄えることを表した指標。大きいほど財源に余裕がある。
経常収支比率	102.2%	100.9%	必要な経費（人件費、扶助費など）に対し、自由に使えるお金の割合。低いほど財政に弾力性がある。
経常一般財源比率	90.2%	75.6%	歳入構造の弾力性を表した指標。100%を超えると余裕がある。

財源構造は硬直化している
敷いんだ。



健全化4指標

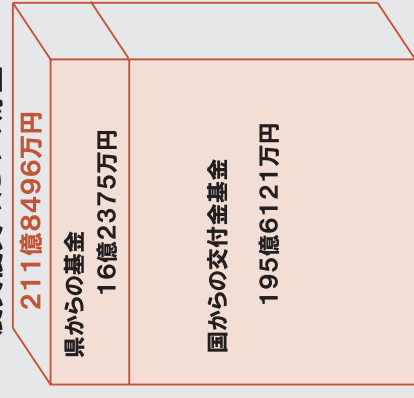
区分	平成24年度	平成23年度	説明
実質赤字比率 ※1	なし	なし	普通会計（一般会計と公園墓地会計）の実質的な赤字を示す割合。
連結実質赤字比率 ※1	なし	なし	すべての会計の黒字や赤字を合算した全体的な赤字の割合。
実質公債費比率 ※1	7.5	10.3	すべての会計の借金（負債）に、一部事務組合等を含めた借金返済額の割合。
将来負担比率 ※1	算出されず	算出されず	すべての借金や、将来支払う可能性がある負担金など借金残高の割合。

※1 早期健全化基準の指標です。1つでも超えると歳入増加や歳出削減などの財政健全化計画を策定しなければなりません。

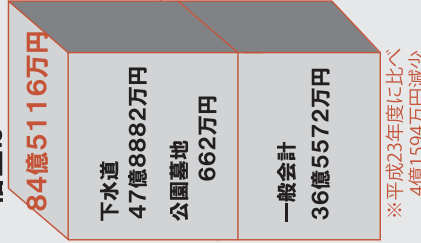
財政運営は健全だよ。



震災復興のための貯金



借金は



特別会計

会計名	収入	支出	差引額	採決の結果
下水道事業	10億8284万円	10億7277万円	1007万円	賛成14：反対1
国民健康保険	25億4185万円	24億5187万円	8998万円	
介護保険	16億1222万円	15億7217万円	4005万円	
後期高齢者医療	1億3633万円	1億3151万円	482万円	
公園墓地事業	1954万円	1840万円	114万円	

水道事業会計	収益的	5億6591万円	5億1502万円	5089万円	賛成14：反対1
資本的	94万円	7537万円	▲7443万円 ※3		

*1 収益的・・・経営に伴い、発生が予想される収入と費用
 *2 資本的・・・将来に備えて行う建設改良等の支出とその財源となる収入
 *3 不足分は積立金（留保資金）などで補てん



健康チェックで元気で長生きを

討

- 水道事業会計 賛成 渡歌 逢川 淳彦
- 後期高齢者医療 賛成 岡崎 正憲
- 介護保険 賛成 千歌 葉志美 枝
- 国民健康保険 賛成 大歌 町睦 夫
- 下水道事業 賛成 殺歌 久博 渡

論

監査の意見



代表監査委員
遠藤 均 さん

一般会計の決算規模は、東日本震災が起きた平成22年度と比較すると約6倍となっているが、東日本震災関連の増が主な要因であり、震災関連の増が継続し、財政実質的には引き続き厳しい状況である。今後の財政運営にあたっては、震災復興の予算編成と、震災復興の維持管理も含め、経常経費の抑制と点検を行う必要がある。また、関係法令や条例等に従った限られた財源を重点的、効率性の高い計画的な事務事業の推進を望む。

★子育てしやすい環境を★

保護者や学識経験者などで

子ども・子育て

会議を設置

補正予算

議案審議



輪なげあそび (七の市商店街)

条例制定

●子ども・子育て会議
内容
子ども・子育て支援法
の規定に基づき、審議会
などの会議制機関として
設置し、運営に関する事
項などを定めるものです。

●産業課長 含まれて
いる。

●民有地の松も対象に
なるのか。

●松くい虫伐倒駆除へ追加
(908万円)

●地域福祉課長 小学
生以下の子どものがい
る1800世帯が対象。
国からの内容を町独自の
内容に絞るこのアンケート
とし、今後の計画に反
映する。

●子どもを養育してい
る保護者に必要な支
援と健やかな成長を目的
として新設されるが、二
次調査の対象と内容は。

●子ども子育て会議
(241万円)

9月定例会では、子ども・子育て会議の設置や被災市街地復興
(4地区)の土地区画整理事業の条例制定、工事契約および平成25
年度一般会計補正予算(第3号・第4号)などを審議し、原案のと
おり可決しました。
なお、平成25年度予算は、歳入歳出それぞれ258万円を追加し、
総額206億8458万円となりました。

質疑

●構成委員の中で、子
どもの保護者からは
何人参加か。

●地域福祉課長 幼稚
園や保育所、小学校
のPTA関係者の3人を
想定している。

●被災復興推進課長
鉄筋コンクリート造
りの住宅(3地区分)の
支払いが遅れることが考
えられ減額処理とした。

●減額の理由は。

●災害公営住宅整備等
委託料の減額
(20億2640万円)



健やかな成長を (親子すまいるフェスタ)

条例改正

●スポーツ施設条例
内容
ミニスコートの改修に
より、テニス兼フットサ
ルコートとして使用する
ため所要の改正を行うも
のでも。

●被災復興推進課長
頻繁に違い指摘を受けた。

●県と事業計画の事前
協議はしたのか。

●質疑

●松ヶ浜地区
復興土地区画整理事業
内容
土地区画整理法の規定
により町が施行する各地
区の事業に必要な事項を
定めるものです。

●仙壇広域都市計画事業
真淵田浜地区
花洲浜地区
代々崎浜A地区
代々崎浜B地区
被災市街地
復興土地区画整理事業

工事契約

●松ヶ浜地区
災害公営住宅整備
契約先 宮城県
金額 6億1812万円
工期 平成26年7月31日

●古田浜地区
災害公営住宅整備
契約先 宮城県
金額 1億9291万円
工期 平成26年7月31日

●松ヶ浜西原地区
高台住宅団地
地区外の排水路整備
契約先 中鉄建設㈱
仙台支店
金額 8347万円
工期 平成26年3月31日

●花洲浜五月田地区
災害公営住宅造成
契約先 中鉄建設㈱
仙台支店
金額 9660万円
工期 平成26年3月31日

内容

一般会計	補正額
■歳入 国の補助金 (平成25年度配分) 県の補助金 基金からの繰入を減額	12億7521万円 2億3200万円 ▲13億6784万円
■歳出 大規模修繕費利子補給および補助 農山漁村地域の復興基盤整備へ 消防資機材 (パルーン投光器セット) 購入へ	3億9900万円 1280万円 321万円

ひとロメモ

●プロポータル方式
建築物等の企業設計
を選定する際に、複数
の会社に提案してもら
い、その中から優れた
提案を行った設計者を
選定すること。

人事

教育委員

●(再任)
古田厚子さん (60歳)
(空見台)
任期は平成25年
10月1日から4年間

固定資産
評価審査委員

●(再任)
堀野信臣さん (74歳)
(空見台)
任期は平成25年
10月1日から3年間

これも議会の仕事です

今回は2年間の活動を総括します

委員会の編成替えに伴い9月定例会終了後、新メンバーでの活動になります

- 総務常任委員会・・・災害に強いまちづくり
(避難所収容対策、食料・飲料水及び生活物資の確保)
- 教育民生常任委員会・・・公共施設(教育・福祉)の復興策
- 産業建設常任委員会・・・地元産業(農業・漁業・商工業)の再建築
- 議会運営委員会・・・議会活性化に向けた取り組み



災害救援バンダー(生涯学習センター)

総務

平成23年9月から本委員会で所管事務調査事項を「災害に強いまちづくり」とし、2つの調査に取り組みました。最初の6ヶ月は東日本大震災以降、町外への移転などで人口が減少し、歯止めをかけるため定住促進・人口増加策の調査を行いました。新興住宅の地域住民との懇談会を開催し、出された意見を集約の上、一般質問で町の考えをいただきました。

平成24年4月からは避難収容対策と食料・飲料水及び生活物資の確保等に取り組みんできました。町内6地区の自主防災会との懇談会を開催し、関係者から日頃の防災訓練を通し住民を災害から守る体制づくりなどを伺いました。日頃身に付けていることがいざという時の自助・共助につながるかと感じます。東日本大震災を踏まえた今後の課題や要望として取りまとめた災害時の通信手段の確保やガソリン・灯油の備蓄、防災井戸の制度化など、まなものは町へ要望書を提出し担当課より回答を得ました。



防災訓練に参加する皆さん(代ヶ崎浜)

また本年5月に実施した右手県濃野市、富城県気仙沼市の先進地視察では避難収容対策として、学校や地域の自主防災会と連携した避難所運営訓練の実施や、災害時に自動販売機から無料で飲み水が確保できる災害救援バンダーの導入などが今後必要であるとの総括を行い、2年間の調査活動を終了しました。これからの災害に強いまちづくりへ生かしていきます。

第3回定例会 提出議案採決結果一覧 (9/4～9/13)

議案名	掲載ページ	賛成	反対	議決結果	返答	関係者
教育委員の再任	9ページ	15	0	可決	○賛成	佐藤 耀信
固定資産評価委員の再任	9ページ	15	0	可決	○賛成	岡崎 正憲
被災市街地復興(葛瀬田浜地区)土地区画整理事業の条例制定	9ページ	13	2	可決	○賛成	鈴木 初雄 阿部 和夫
被災市街地復興(花刈浜地区)土地区画整理事業の条例制定	9ページ	13	2	可決	○賛成	渡邊 淳 鈴木 勝美
被災市街地復興(代ヶ崎浜A地区)土地区画整理事業の条例制定	9ページ	13	2	可決	○賛成	遠藤 豊三 糸久 博
被災市街地復興(代ヶ崎浜B地区)土地区画整理事業の条例制定	9ページ	13	2	可決	○賛成	大町 睦夫 角 靖志
町税条例の一部改正	-	15	0	可決	○賛成	遠藤 久和 歌川 渡
国民健康保険条例の一部改正	9ページ	15	0	可決	○賛成	千葉志美枝 我妻 周悦
子ども・子育て会議条例の制定	9ページ	15	0	可決	○賛成	阿部 慶也
スポーツ施設条例の一部改正	9ページ	15	0	可決	○賛成	藤 結 果
松ヶ浜地区災害公営住宅の工事契約	9ページ	12	3	可決	○賛成	藤 結 果
吉浜地区災害公営住宅の工事契約	9ページ	12	3	可決	○賛成	藤 結 果
平成24年度水道事業会計未処理分利益剰余金の処分	-	15	0	可決	○賛成	藤 結 果
平成25年度一般会計補正予算(第3号)	8ページ	14	1	可決	○賛成	藤 結 果
平成25年度下水道事業特別会計補正予算(第2号)	-	15	0	可決	○賛成	藤 結 果
平成25年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	-	15	0	可決	○賛成	藤 結 果
平成25年度公園緑地事業特別会計補正予算(第1号)	-	15	0	可決	○賛成	藤 結 果
平成25年度介護保険特別会計補正予算(第1号)	-	15	0	可決	○賛成	藤 結 果
松ヶ浜原地区高台住宅団地地区外排水路整備の工事契約	9ページ	15	0	可決	○賛成	藤 結 果
花刈浜五月地区災害公営住宅の造成工事契約	9ページ	15	0	可決	○賛成	藤 結 果
平成25年度一般会計補正予算(第4号)	8ページ	14	1	可決	○賛成	藤 結 果

○賛成 ×反対 議長(佐藤耀信)は採決に加わらない。

臨時議会

8月9日に第3回臨時議会を開催しました。七ヶ浜中学校校舎改築の工事契約を審議し、全会一致で原案のとおり可決しました。

工事契約

●七ヶ浜中学校校舎改築工事
契約先 (株) 淺沼組
東北支店
金額 13億6290万円
工期 平成27年3月31日

質疑

問 調理室の分離は?

答 教育総務課長 体育館が避難所になった場合避難者対応に家庭科室を使う。分離とは、学校活動と避難者対応のエリアに分けられるということである。

問 太陽光発電パネルの発電容量は?

答 20.2kWhの発電能力があり、15kWhの蓄電池を用意している。



避難所機能を備えた新校舎(イメージ)

問 受水槽は20mだが、避難所施設ということを考慮した一定の大きさの設備の配置が必要と思うが。

答 避難者2200人に最大3日程度の水を供給できる量としている。

議会報告会を開催 12会場に99人が参加

このように変えました

- 5人1班で巡回
- メンバーの編成替え
- 平日の夜に開催
- 土・日の日中に開催
- 分館など9会場
- 仮設住宅の3集会所を追加



ぐるりんこを便利に

町

町民バスぐるりんこ

- ステップが高く昇降が大変。
- 回数券を発行できないが。
- 本塩釜駅発の増便を。

議会

- 介護などテーマを決めて町民の声を聴いたらどうか。
- 予算を組む前に、予算化に向けた意見交換の場を。

その他では

- 町木クロマツの枯れ木が目立つ。松くい虫対策を急げ。
- 法律相談の時間が30分と短い。相談内容の事前通知制を。

震災復興では

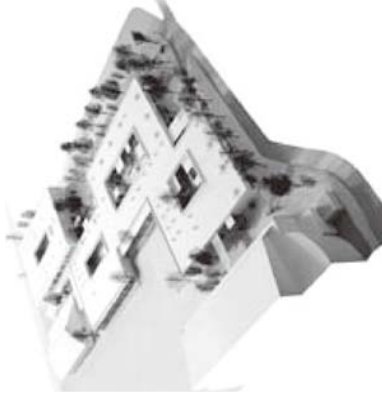
- 被災した土地の買い上げを早急に。
- 被災者の医療費一部負担免除の延長を。
- 自己資金で住宅再建する被災者への補助を。

5月18日、19日に行った報告会は、議員が3班に分かれて実施しました。3月定例会の内容を報告したあと、皆さんから町や議会に対する意見、要望などが出されました。要望の主なものをお知らせします。

教育 民生

本委員会では平成23年9月から所管事務調査事項を「公共施設（教育・福祉）の復興策について」とし、取り組んできました。東日本大震災で被災した七ヶ浜中学校や学校給食センター、図書センター、地区公民館、遠山保育園などの復興計画作成への経緯や復興の進捗状況を担当課から説明を受け調査を行いました。

七ヶ浜中学校の改築に 保育所の教訓を



七ヶ浜中学校の完成様子

- 七ヶ浜中学校
プロポーザル2次審査会を優勝しました。また、視察研修した新潟県長岡市の宮内中学校を参考に各委員の意見を取りまとめ、七ヶ浜中学校の建設に役立てるため担当課との意見交換や、設計段階で行いました。非常口や避難所の機能、トイレの配置、学生ごとの教室の配置等が反映されました。平成27年3月完成予定で
- 遠山保育所
平成25年4月に開所した保育所を視察しました。安全に児童が生活できる施設としては問題があると思われたため、担当課との意見交換を行いました。
遠山保育所には問題点が多かったため、これから改築する七ヶ浜中学校などの施設にはこのような問題がないように注視していきます。

安全な保育所を

産業 建設

「農業・漁業・商工業の再構築について」を懇談会形式で現場の声を聞き町へ意見、要望を提出してきました。震災復興事業による漁港や各種施設、農地のがれき処理、復旧が進んだことにより1次産業の再開が見られます。

復興へ個性も 強いリーダーシップを

しかし、本町の産業は震災前と同じ形での復活は難しいと思います。従事者の高齢化、離職、後継者不足のため、個人から集約化への転換などに對し新たな展開が不可欠です。震災復興官民連携支援事業として「花刈浜ハートバスクエアまごころ事業」に期待したい



塩害を乗り越えて

が先進地の土壌でも成功している施設、そうでない施設がありました。共通していたのが交通の利便性が高い立地場所が最重要であるということと強力なリーダーが必要だということです。本町の立地不足場所での施設建設には厳しい経営が予想されます。根拠的付加価値を高めることや他とは異なる個性、対策が成功に必要です。そのため、つくりと、今までとは異なる形を構築することが必要です。



着実に復興へ進むが...

委員会が新メンバーに！

議案は、議員全員で審議したり調査するのが理想ですが、議会で取り上げる内容は複雑で範囲も多岐にわたっており、質疑などで多くの時間が必要になります。そのためいくつかの委員会を設置して、調査を専門的に分担して行うのが委員会の活動です。

今回、構成メンバーが新しくなり、調査事項が決定しましたので紹介します。

※ ◎は委員長 ○は副委員長

総務常任委員会

担当する課

総務課 政策課 財政課
震災復興推進課 税務課
環境生活課 七ヶ浜国際村
会計課に属する事項などを担当します。

関連する事項

- 住民が利用しやすい交通機関の確立
- (1) くろりんに運行の検証と改善
- (2) 交通システムの多様な活用



目的
運行の利便性向上を図り交通弱者の生活に潤いをもたらすよう調査する。



前列右より
◎阿部 和夫
歌川 渡
後列右より
角 靖志
岡崎 正憲
渡藤 久和

教育民生常任委員会

担当する課

教育委員会（教育総務課・生涯学習課）、町民課・地域福祉課、健康増進課に属する事項を担当します。

関連する事項

- 学校教育環境の充実

目的
学力低下やいじめ問題等で学校に日制的検証が取り沙汰されている中で、



学校教育の現状を調査する。



前列右より
◎阿部 慶也
◎歌川 渡
大町 睦夫
後列右より
鈴木 勝美
渡藤 喜二
角 靖志

産業建設常任委員会

担当する課

産業課、建設課 水道事業所（下水道含む）に属する事項を担当します。

関連する事項

- 農地の復興対策

目的
東日本大震災で被害を受けた農地の改善などに取り組むために調査する。



前列右より
○我妻 周悦
◎千葉 志業枝
大町 睦夫
後列右より
渡藤 淳
鈴木 初雄
郷石 剛史
糸久 博

議会運営委員会

議会運営委員会は、議会の運営を円滑で効率よく進めるための議長の諮問機関です。

通常、議会が招集されると議会の数日前に会期や議事日程のほか、議案や一般質問などの取り扱いを協議します。また、議長から特に諮問された事項の調査・審査を行い、答申する役目も担っています。

権限の主なもの

- ① 会期・議事日程、一般質問や特別委員会設置の取り扱いなど議会運営に関すること
- ② 会議規則 委員会条例などに關すること
- ③ 諸規程などや先例集（議会運営に必要なルールをまとめたもの）の解釈・運用など議長の諮問に関すること



前列右より
◎歌川 渡
◎大町 睦夫
阿部 慶也
後列右より
阿部 和夫
渡藤 久和
我妻 周悦

議会広報編集特別委員会

今、皆さんがご覧になっているこの議会だより「編集」発行を担当しているのが議会広報編集特別委員会です。

本委員会では、議会の活動状況をお知らせし議会に関心を持っていただけるように、読みやすく分かりやすい紙面づくりを目指しています。

定期発行は年4回で、本議会終了後に編集のための委員会を開き、原稿

の読み合わせや印刷などの作業を分担して行います。



委員による編集作業



前列右より
○糸久 博
◎岡崎 正憲
佐藤 惺悟
飛行 任彦
後列右より
渡藤 淳
渡藤 喜二
千葉 志業枝
角 靖志

雨水排水計画は完成したのか

町長 まだ時間を要す



わたなべ あつし
渡邊 淳

問 昨年3月の一般質問の回答で「雨水排水整備計画は策定中であり治水計画もつくる」とのことだがいずれも完成したのか。

答 町長 平成4年3月に雨水排水基本計画を策定したが現況は大きく変化した。平成24年11月には七ヶ浜町治水方針を策定している。町全体の雨水排水計画を策定してから復旧復興の各事業を進めるのが理想ではあるが、復興まちづくり事業の推移と町全域の雨水排水問題との整合性を図る必要があり時間を要する。

問 区画整理や道路事業によりこれまでの排水施設では負担が大きくなるがその対策は。

答 雨水排水に関するすべての事業では、計画する流域の実態把握と大雨や高潮等における問題、課題を整理し流量不足の排水施設は改善を図る。また将来の計画流量との比較検討を行いながら改善していく。

問 排水計画はいつまでつくるのか。

答 現時点で復旧復興を考えると目標時期は明示できない。

問 今後整備する地盤の嵩上げ高と雨水整備計画との整合は。

答 区画整理事業では排水路整備をし、沈下した土地の嵩上げを行い地域全体の防災性を向上させる。区域内の地盤高は宅地や道路の排水に十分に配慮し計画する。津波浸水域に現地再建される宅地の排水は平成24年

10月から施工している独自支援の嵩上げ工事補助で安全安心を確保して欲しい。

問 農業排水や路面排水、宅地雨水排水、および防潮堤との整合性は。

答 雨水が自然に流れない低い土地は既存住宅に配慮した道路事業等で排水路の改修を行い、簡易式や移動式のポンプ設置を含め排水能力の向上を図る。農業施設でも自然流下とポンプ排水の併用による対策を実施する。農業用水管と雨水排水施設の機能を持つように計画している。防潮堤との調整は排水口の統廃合も含め排水施設整備を県と調整していく。

問 整備が遅れるならハザードマップを作成し、住民に現状を知らせ優先順位を付け整備していく考えは。

答 大雨の情報があった場合、担当課全員が出勤し危険な排水溝の掃除や土嚢を積んで防ぐ。さらには応急ポンプを置いて処理する。

問 将来は常設ポンプの計画など都下水の事業は考えられないか。

答 現時点では県の河川課に相談している。



冠水状況と応急ポンプ（東宮浜・代ヶ崎浜）



町政を問う

ズバリ

一般質問一覧表

9月定例会の一般質問は4日に行い、5人が活発な議論を展開しました。内容は質問者の原稿を原文に近い形で17ページから21ページに掲載しています。なお、タイトルは通告のとおりです。

- 渡邊 淳** ……17ページ
 - 雨水対策について
- 岡崎 正憲** ……18ページ
 - プロポーザル方式での事業発注に伴う責任の所在等について
- 郷右近剛史** ……19ページ
 - 既存の施設の整備による観光対策の推進について
 - 学校給食センター開設による食物アレルギー対応の学校給食について
- 鈴木 勝美** ……20ページ
 - 災害公営住宅と併設される公園の維持管理のあり方について
 - 花刈浜ハーバースクエア事業について
- 千葉志美枝** ……21ページ
 - 介護予防センターの開設について
 - 3・11犠牲者の供養塔の設置について

なぜ代替食の対応をしないのか

教育長 すべての対応は困難



あらいまさひろ 町長

問 2件のプロポーザル方式を採用した事柄が注目され、遠山保育園は多くの問題を残しながらも完成したが責任の所在は。



運動会の練習 (遠山保育園)

答 町長 遠山保育園は1・0・3点の応募作品から選ばれ「みんなが暮らう野原の保育園」という構想で設計された。責任は設計業者(以下A社)にある。

問 気象条件や周囲環境との融合性などA社が調査するべきことが多数あるが、十分に知っていたのか。

答 町長 責任の所在を含め、法的に解決するため宮城建築士事務所協会に鑑定を依頼している。7月29日にB社からの聴き取りが行われ、9月末にA社の聴き取りが行われる予定である。改善や損害賠償を求めることも含め結果を待たない。

問 遊戯室の折戸は強度不足で改造したが、工事業者(以下B社)を含めた打ち合わせは問題にならなかったのか。

答 町長 責任の所在を含め、法的に解決するため宮城建築士事務所協会に鑑定を依頼している。7月29日にB社からの聴き取りが行われ、9月末にA社の聴き取りが行われる予定である。改善や損害賠償を求めることも含め結果を待たない。

問 遊戯室の折戸は強度不足で改造したが、工事業者(以下B社)を含めた打ち合わせは問題にならなかったのか。

答 町長 責任の所在を含め、法的に解決するため宮城建築士事務所協会に鑑定を依頼している。7月29日にB社からの聴き取りが行われ、9月末にA社の聴き取りが行われる予定である。改善や損害賠償を求めることも含め結果を待たない。

問 遊戯室の折戸は強度不足で改造したが、工事業者(以下B社)を含めた打ち合わせは問題にならなかったのか。

答 町長 責任の所在を含め、法的に解決するため宮城建築士事務所協会に鑑定を依頼している。7月29日にB社からの聴き取りが行われ、9月末にA社の聴き取りが行われる予定である。改善や損害賠償を求めることも含め結果を待たない。

問 来年度開設の学校給食センターで、食物アレルギー対応の学校給食は除去食の対応だけである。なぜ代替食の対応をしないのか。

答 教育長 ハート面やソフト面、学校現場の対応の面から、食物アレルギーすべてに対応することは極めて困難である。また、「家庭での対応以上の対応を学校給食で行う必要はない」と文科省が指針を示している。

問 現在の代替食は、新たに場所や人を必要としない対応も可能である。そのような対応はできないか。

答 教育長 財政の問題がある。

問 来年度開設の学校給食センターで、食物アレルギー対応の学校給食は除去食の対応だけである。なぜ代替食の対応をしないのか。

答 町長 代替食ほどの程度の財源がかかると試算しているのか。

問 代替食にどの程度の財源がかかると試算しているのか。

答 町長 試算はしていない。

問 代替食で対応しなければならない人数は把握しているのか。

答 町長 約30人である。

問 師範校の養弁から方針が大きく変わったが、その整合性をどう説明するのか。

答 町長 時間の経過の中でどう変わったのかを、きちんと検証した上で回答する。

問 師範校の養弁から方針が大きく変わったが、その整合性をどう説明するのか。

答 町長 時間の経過の中でどう変わったのかを、きちんと検証した上で回答する。

問 師範校の養弁から方針が大きく変わったが、その整合性をどう説明するのか。

答 町長 時間の経過の中でどう変わったのかを、きちんと検証した上で回答する。

問 師範校の養弁から方針が大きく変わったが、その整合性をどう説明するのか。

答 町長 時間の経過の中でどう変わったのかを、きちんと検証した上で回答する。

問 師範校の養弁から方針が大きく変わったが、その整合性をどう説明するのか。

答 町長 時間の経過の中でどう変わったのかを、きちんと検証した上で回答する。

問 サンプルで指摘した点が、十分な強度があるとのA社の主張で工事が行われた。

問 手直し工事はB社が行ったが、デザインに起因するものであればA社やB社、発注者との関連はどうか。

答 町長 責任の所在を含め、法的に解決するため宮城建築士事務所協会に鑑定を依頼している。7月29日にB社からの聴き取りが行われ、9月末にA社の聴き取りが行われる予定である。改善や損害賠償を求めることも含め結果を待たない。

問 施工管理として、第3者機関に委託することを検討したのか。

答 町長 責任の所在を含め、法的に解決するため宮城建築士事務所協会に鑑定を依頼している。7月29日にB社からの聴き取りが行われ、9月末にA社の聴き取りが行われる予定である。改善や損害賠償を求めることも含め結果を待たない。

問 今後の建築関係者資格者の職責採用を考慮されないか。

答 町長 人選も含め、前向きに検討している。

問 今後、建築関係者資格者の職責採用を考慮されないか。

答 町長 人選も含め、前向きに検討している。

問 今後の建築関係者資格者の職責採用を考慮されないか。

問 他者の復興工事や有資格者不足、シンボル工への難業業務等を働きしA社に発注した。

問 今後、建築関係者資格者の職責採用を考慮されないか。

答 町長 人選も含め、前向きに検討している。

問 今後、建築関係者資格者の職責採用を考慮されないか。

答 町長 人選も含め、前向きに検討している。

問 今後、建築関係者資格者の職責採用を考慮されないか。

答 町長 人選も含め、前向きに検討している。

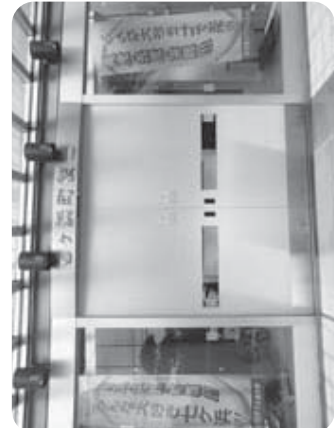
問 今後、建築関係者資格者の職責採用を考慮されないか。

答 町長 人選も含め、前向きに検討している。

問 今後、建築関係者資格者の職責採用を考慮されないか。

役場入口に海のイメージを

町長 華やかな装飾は馴染まない



七ヶ浜町の顔！役場庁舎入口

問 町の観光対策は積極的であるとは言い難い。そこで、観光対策の起爆剤として、訪れる多くの町外の方が「うみ・ひと・まち」の七ヶ浜町を感じることをできるように、既存の施設を整備する考えはないか。

答 町長 中央公民館では、入口の緑地帯に「ほっけのポーチちゃん」の標識を設置する事業を進めている。

問 「役場庁舎入口の自動ドアは隠蔽的で入りにくい」という多くの町民の声があるが、整備する考えはないか。

答 町長 担当課に検討をさせてみたい。

問 町の観光対策は積極的であるとは言い難い。そこで、観光対策の起爆剤として、訪れる多くの町外の方が「うみ・ひと・まち」の七ヶ浜町を感じることをできるように、既存の施設を整備する考えはないか。

答 町長 中央公民館では、入口の緑地帯に「ほっけのポーチちゃん」の標識を設置する事業を進めている。

問 「役場庁舎入口の自動ドアは隠蔽的で入りにくい」という多くの町民の声があるが、整備する考えはないか。

答 町長 担当課に検討をさせてみたい。

問 町の観光対策は積極的であるとは言い難い。そこで、観光対策の起爆剤として、訪れる多くの町外の方が「うみ・ひと・まち」の七ヶ浜町を感じることをできるように、既存の施設を整備する考えはないか。

答 町長 中央公民館では、入口の緑地帯に「ほっけのポーチちゃん」の標識を設置する事業を進めている。

問 「役場庁舎入口の自動ドアは隠蔽的で入りにくい」という多くの町民の声があるが、整備する考えはないか。

答 町長 担当課に検討をさせてみたい。



にしむらたかひろ 町長

問 来年度開設の学校給食センターで、食物アレルギー対応の学校給食は除去食の対応だけである。なぜ代替食の対応をしないのか。

答 町長 代替食ほどの程度の財源がかかると試算しているのか。

問 代替食にどの程度の財源がかかると試算しているのか。

答 町長 試算はしていない。

問 代替食で対応しなければならない人数は把握しているのか。

答 町長 約30人である。

問 師範校の養弁から方針が大きく変わったが、その整合性をどう説明するのか。

答 町長 時間の経過の中でどう変わったのかを、きちんと検証した上で回答する。

問 師範校の養弁から方針が大きく変わったが、その整合性をどう説明するのか。

答 町長 時間の経過の中でどう変わったのかを、きちんと検証した上で回答する。

問 来年度開設の学校給食センターで、食物アレルギー対応の学校給食は除去食の対応だけである。なぜ代替食の対応をしないのか。

答 町長 代替食ほどの程度の財源がかかると試算しているのか。

問 代替食にどの程度の財源がかかると試算しているのか。

答 町長 試算はしていない。

問 代替食で対応しなければならない人数は把握しているのか。

答 町長 約30人である。

問 師範校の養弁から方針が大きく変わったが、その整合性をどう説明するのか。

答 町長 時間の経過の中でどう変わったのかを、きちんと検証した上で回答する。

問 師範校の養弁から方針が大きく変わったが、その整合性をどう説明するのか。

答 町長 時間の経過の中でどう変わったのかを、きちんと検証した上で回答する。

問 来年度開設の学校給食センターで、食物アレルギー対応の学校給食は除去食の対応だけである。なぜ代替食の対応をしないのか。

答 町長 代替食ほどの程度の財源がかかると試算しているのか。

問 代替食にどの程度の財源がかかると試算しているのか。

答 町長 試算はしていない。

問 代替食で対応しなければならない人数は把握しているのか。

答 町長 約30人である。

問 師範校の養弁から方針が大きく変わったが、その整合性をどう説明するのか。

答 町長 時間の経過の中でどう変わったのかを、きちんと検証した上で回答する。

問 師範校の養弁から方針が大きく変わったが、その整合性をどう説明するのか。

答 町長 時間の経過の中でどう変わったのかを、きちんと検証した上で回答する。

問 来年度開設の学校給食センターで、食物アレルギー対応の学校給食は除去食の対応だけである。なぜ代替食の対応をしないのか。

答 町長 代替食ほどの程度の財源がかかると試算しているのか。

問 代替食にどの程度の財源がかかると試算しているのか。

答 町長 試算はしていない。

問 代替食で対応しなければならない人数は把握しているのか。

答 町長 約30人である。

問 師範校の養弁から方針が大きく変わったが、その整合性をどう説明するのか。

答 町長 時間の経過の中でどう変わったのかを、きちんと検証した上で回答する。

問 師範校の養弁から方針が大きく変わったが、その整合性をどう説明するのか。

答 町長 時間の経過の中でどう変わったのかを、きちんと検証した上で回答する。

問 来年度開設の学校給食センターで、食物アレルギー対応の学校給食は除去食の対応だけである。なぜ代替食の対応をしないのか。

答 町長 代替食ほどの程度の財源がかかると試算しているのか。

問 代替食にどの程度の財源がかかると試算しているのか。

答 町長 試算はしていない。

問 代替食で対応しなければならない人数は把握しているのか。

答 町長 約30人である。

問 師範校の養弁から方針が大きく変わったが、その整合性をどう説明するのか。

答 町長 時間の経過の中でどう変わったのかを、きちんと検証した上で回答する。

問 師範校の養弁から方針が大きく変わったが、その整合性をどう説明するのか。

答 町長 時間の経過の中でどう変わったのかを、きちんと検証した上で回答する。

介護予防センターの開設を

町長 第6期介護保険計画で検討



千葉 志枝

問 各地区の公民館や仮設住宅の集会所で健康体操などを取り入れた「介護予防教室」が開かれている。利用実態からみて介護予防事業にどのように対応されているのか。

答 町長 平成24年度は仮設の集会所も含め15カ所、344回開催。延べ4300人が参加した。元気な高齢者の健康を維持して、介護保険財政の負担軽減にもつなげていく。



はびさば運動教室

問 東日本大震災以降は介護認定者が急増した。以前に町が運営していた「元気茶屋」のような介護予防センターを開設し、介護状態に陥らない元氣な高齢者づくりに取り組むべきでは。

答 県の被災者支援事業を活用し訪問リハビリや、元気茶屋を会場に月3回「はびさば運動教室」を実施している。現在取り組んでいる支援事業を継続させ、第6期介護保険計画策定の中で検討していきたい。

3. 犠牲者の供養塔を

町長 法的に難しい

問 町内外の遺族をはじめ一般住民や、本町に復興支援に来るボランティアの人たちから、津波の犠牲になられた方々へ手を合わせる場所が欲しいとの声がある。簡易的なものでも沿岸部に供養塔を用意し、礼拝の場を設置する考えは。

答 町長 憲法第20条に「地方公共団体の宗教的活動は禁止とする。行政を行うのは簡易的であっても供養塔を設け、礼拝の場としての設置は法的に難しい。



安らかに…(巨理町にある供養塔)

問 行政で難しいのであれば民間や団体への調整役としての考えは。

答 法律に触れるのでやれないが、津波が一番高かった葛蒲田浜にモニメントは建てたいと考えている。

問 モニメントと供養塔の結びつき、関係性は。

答 あくまでも震災を風化させないためのものであり、行政としては憲法上のこともあるので合掌・礼拝には踏み込まない。



鈴木 勝美

花洲浜ハーバースクエア事業の現状は

町長 関係者で協議中

問 事業計画が進んでいるが、参画する漁協や農協、商工会もよび地元企業の協賛状況は。

答 町長 現時点では事業への参画は決定していない。参画を予定している多賀城・七ヶ浜商工会が中心になり、まちづくり会社設立に向け協議検討を行っている。漁協からも全面的協力がある。

問 商工会は国や県、町の補助金と委員の会費で運営されており事業者に対し指導的な立場にあると思うが、まちづくり事業に参画できるのか。

答 本事業は町の基幹産業である漁業の復興とら次化産業施設による雇用の創出を目的としている。地域活性化事業に取り組むことは商工会法の趣旨や定款等に照らし合わせ、目的に合致していること回答である。

問 まちづくり事業に町民の税金を投入するのが。

答 産業課長 この事業は、町が国の補助事業として商工会に委託したものである。町から国に申請し認められれば復興交付金事業になる。

問 まちづくり事業の成功のためにどのような事業者の方法を考えているのか。

答 町長 商工会、漁協がそれぞれ専任職員を配置。施設の運営や集客、製品の販売ルート等の検討をしている。

災害公営住宅などの維持管理は

建設課長 外部委託を予定

問 災害公営住宅は20戸と今年までの町営住宅の13倍の戸数になる。また、新設される沿岸部の公園も含め維持管理は膨大なものになると考えられる。どのような管理手法を見込んでいるのか。

答 建設課長 公営住宅は費用対効果を考え県の社団法人に維持管理を依頼する予定。公園は現在検討中。

問 管理費は示されていないが膨大な額になると考えられる。早目の試算が望ましいのではないか。

答 町長 現在事業計画中であり、事業が進捗しないことには難しい。



学校法人 東神学園 第二柏幼稚園



〔沿革〕

本園は、昭和29年東光幼稚園として、東宮浜に設立しました。以来2500人を超す卒園児を送り、すでに成人し社会の中堅としてその重責を担い、また立派な家庭を築き、その子どもも成人しています。昭和52年、町の真様の物心両面の支援とご協力を賜り、東宮浜児童公園に隣接する現地に第二柏幼稚園として、定員105人園舎800㎡・園地1200㎡の「ゆとり」ある施設が完成しました。



〔教育方針〕

- 学校教育法に
伝統を継ぎ…
『みんな平等』
『つよく(健康)』
『すなお(正直)』
『みこ(優良)』
- 神社神道を通し…
『礼儀正しい子』
『人には感謝する子』



七ヶ浜町内には5つの私立幼稚園があります。これは人口7万4000人の名取市と同等の設置数です。この数字で理解し、七ヶ浜町は幼児教育としても恵まれた環境にあるといえます。これら町長さんをはじめ議員の皆さん、区長さん、町民の皆さん、七ヶ浜町に属する多くの方々のご理解とご協力のもと実現しております。

本園も真摯に心より感謝を申し上げ、さらなる向上と誇りある幼児教育の充実を目指してまいります。

防災会議に 女性の登用を

追跡



質問

構成委員の中に女性の参画は考えないのか。



回答

国の条例改正で女性を登用しやすくなった。町の条例も改正し積極的な女性の登用を進めたい。

質問
今までの防災会議の構成メンバーは。



回答

条例では25人だが現在は17人。構成委員は宮城海上保安部長、宮城県仙台台土木事務所長、塩釜警察署長、公共性の高い企業などから任命している。



救急救命の講習会(婦人防火クラブ)

3人の女性が構成委員に任命され、8月28日に第1回防災会議を開催しました。

新 コー ナー

クイズ ?

<3択から選んでね>

問1 議会では調査活動を行う3つの常任委員会がありますが、総務と教育民生、あと一つは。

- ① 文化芸術 ② 地域再生 ③ 産業建設

問2 シンガポールからの支援で平成25年4月1日にオープンした遠山保育所の愛称は。

- ① ラビット広場
② らいおんパーク
③ 小鹿のバンビ園

問3 平成24年9月に友好の町の締結が行われました。その相手方は。

- ① マサチューセッツ州プリマス町
② 山形県朝日町
③ 宮城県七ヶ宿町

応募方法： はがきにクイズの答え、住所、氏名、年齢を書いてお送りください。(メール可)
正解者の中から抽選で3人の方に図書券を進呈します。

また、議会へのご意見などもお待ちしております。

あて先：〒985-8577七ヶ浜町東宮浜字丑谷辺5-1
七ヶ浜町議会事務局 議会だより係
Eメール gikai@shichigahama.com

締切り：平成25年11月30日(当日消印有効)

町民ふれあいインタビュー

親子すまいるフェスタに初めて参加した汐見台の五十嵐さんご一家の奥様(愛子さん)にインタビューをしました。

Q 初めてとのことですが行事は何で知りましたか。
A しちがはま広報に載っていたので。

Q ご主人も一緒ですがご家庭での“育メン”ぶりを。

A 何でもやってくれます。おむつ替えや、ミルクをやったり……。哺乳びんも洗ってくれるので助かります。

Q どんな思いで参加されましたか。

A 下の子が生まれてからそちらに手がかかっているの、お姉ちゃんにいっぱい楽しい時間を過ごしてもらいたいです。



ご主人 直樹さん 奥様 愛子さん
長女 みそらちゃん 二女 ももはちゃん
(9月22日 国際村にて撮影)

町民の皆さんからお寄せいただいたご意見、ご要望などを紹介いたします。どしどしお寄せ下さい。お待ちしております。

議会を監視するのはみなさんです。

一次の定例会は12月4日開会予定です

面倒な手続はございません。どなたでも気軽に傍聴することができます。ぜひお越しください

詳しくは議会事務局まで ☎357-7435

または、町ホームページ「町民便利帳」をご覧ください。 <http://www.shichigahama.com>

発行責任者 佐藤 梶信
委員 渡邊 淳
副委員長 遠藤 喜二
委員長 角 靖志
委員 千葉志美 枝博
副委員長 糸久 正憲
委員長 岡崎 正憲
議会広報編集特別委員会

●2020年の東京オリンピック招致に成功。その要因はチームジャパンの結束力です。私たち編集委員も気持ちを新たに一丸となり、読みやすい議会だよりをお届けします。
千葉志美 枝

●田んぼの案山子と波打つ黄金色の稲穂。しばらくぶりの「実りの秋」いいものですね。でもまだ半数の農家が塩害問題をかかえており、農地の復興対策は重要課題です。
●3・11から2年半になる9月11日、定例会開催中でしたが地震発生時の午後2時46分、犠牲者の冥福を祈り全員で黙祷を行いました。

編集後記

